

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年2月6日

事業所名 しあわせ駅 琉大北

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	0	各部屋ごとに活動の内容を明確にし利用している。学習室やプレイルームが個別にある。	
	2	職員の配置数は適切である	8	1	0	職員の適正に応じて、各部屋、活動に配置できるようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	1	段差があるルームには注意喚起の為、声掛けを促すよう行っている。	現在車イス使用や肢体不自由児童がいないが、利用者としていたら急速に対応していく必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	0	日々の朝礼やミーティングにて連携を図り、業務の改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1	0	保護者の意見、要望を親身に受け止めて改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	2	どなたでも閲覧できるように、ホームページ上にて公開を行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	1		今後、連携を図っていくよう努めたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	職場内研修や社内研修、しあわせ駅内の他事業所研修を行いながら、スキルアップを図っている。	今後も全職員が研修に参加できるよう体制を整えていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	日々の活動の変化を職員全員で観察し、アセスメントに繋げ、サービス計画に反映させている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	0	日々の毎利用時に個別の活動記録を記入している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	職員内で役割分担を決め、計画案から反省までチームで動いている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	0	学習支援、自立支援、余暇支援と児童のニーズに合わせた活動が行えるよう、取り組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	0	事前に職員や児童と一緒に目標を決め、課題に取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	ミーティング、担当者会議等で状況を把握し、サービス計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	0	毎朝、朝礼を行い確認ができています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	0	なるべくその日で振り返るよう努めているが、できない場合には、翌日の朝礼にて確認を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	職員間でしっかりと支援計画に基づく記録ができるよう、計画書を確認しやすいようにしている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	各関連機関との連携を密に行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	2	0	ガイドラインを元に取り組みの幅を増やしている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0	児発管が参加するよう努めており、その他児童との関りの深い職員も参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0	学校からの年度計画書や月だより等を事業所にも保管して連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	2		現在、医療ケアが必要な児童はいない為、受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	2		現在、相談支援事業所・保護者からの情報提供が主である。必要に応じて行っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	1		まだ卒業生がいらない為、行っていないが、今後必要に応じて行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	1		研修等の参加機会があれば、参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	2	2		交流の機会を作ることは難しいが、公園にて何度か関りを持つ機会があった。今後は地域活動を多く取り入れていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1	0	送迎時の際、1日の活動の様子を伝えている。定期的なモニタリング、評価面談を実施し、保護者との情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	0	0	公認心理師の職員を中心に今年度は定期的に保護者勉強会を行うことができた。	保護者が求める支援や必要に感じる内容を取り入れられるよう、事業所内で毎月の保護者会が行えるよう努めていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	契約の際に、保護者にしっかりと伝わるよう意識して、説明するようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0	事業所での取り組みの様子等を説明しながら行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	0	今年度は勉強会の実施、保護者会と定期的に取り組むことができた。	今後も保護者会を継続しつつ、保護者の悩み相談、ペアトレ等の保護者会を開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	問題があった際には、日々の朝礼やミーティングにて情報共有を行い、早急に対応策を考えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	0	LINEを活用しながら連絡を取り合い、活動の様子を紹介したり、SNSにて情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0	個人情報許諾書を元に最大限の注意を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	児童が気にならないように、保護者と調整しながら電話等での情報共有を行ったりしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	4	定期的に地域の清掃活動を行うようにしている。	関りはないので、自治会等の活動にも参加できたらと思う。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	1		職員への周知はできているが、保護者への周知があまりできていないので、活動を通しながら周知していきたい。また年度初めには再周知を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	2か月に1回の訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	研修会への参加。その後の伝達研修を行い、全職員へ周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	3	0		現在、対象児童がいない。今後必要とする児童がいる場合は、マニュアルの下、行うことを全職員に周知を徹底していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	0		医師の指示所はないが、保護者とは情報を共有し、食育の際は確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	0	ヒヤリハットファイルを用意し、職員が随時確認できるようにしている。	